

観光社会資本の事例

テーマ	緑の文化回廊 定禅寺通	
【施設の状況写真】		
		
<p>彫刻と休憩スペースがある連続した中央緑道 文化芸術とふれあいながら待合わせの人々も多い。</p>	<p>定禅寺通緑地には、彫刻や休憩スペースなどが整備されており、定期的にオープンカフェが開かれている。</p>	
【施設の利用写真】		
		
<p>「ストリートジャズフェスティバル」では、全国から集まる500以上のバンドがセッションを繰り広げます。</p>	<p>「光のページェント」では、けやき並木が光のトンネルとなり、冬を彩るロマンティックな空間を形成します。</p>	
【観光資源としての利用状況】		
<p>定禅寺通は、仙台市民のみならず多くの来訪者から親しまれているケヤキ並木という仙台のシンボルとなっており、また四季のイベント(青葉まつり・仙台七夕まつり・ストリートジャズフェスティバル・杜の都のアート展・光のページェント)を通じ人々にやすらぎと賑わいをみせております。本整備事業は、仙台開府四百年記念事業の一環として、ケヤキ並木が重要な景観資源であることをふまえ、街の賑わい・芸術とのふれあい・緑とのふれあいを含めた『緑の文化回廊』づくりをテーマに新しく生まれ変わりました。</p>		
<p>「杜の都・仙台」を象徴するシンボルロードとして、未来に向けた新しい都市文化づくりを進めながら、今後もケヤキ並木と調和した街並みの特性をいかして、多くの人々に親しまれる観光拠点としての利用を進めております。</p>		

テーマ	緑の文化回廊 定禅寺通		
名称	市道定禅寺通線		
所在地	宮城県仙台市青葉区一番町四丁目～青葉区立町 地内	延長約	700m
事業名	仙台特別都市計画復興土地区画整理事業	事業名	定禅寺通シンボルロード整備事業
事業主体	仙台市	事業主体	仙台市
事業期間	昭和22年(事業計画決定公告年度) ～昭和50年(換地処分公告年度)	事業期間	平成11年～平成13年

【社会資本の役割・効果】

城下町から近代都市への基礎確立

今日の定禅寺通の緑豊かな景観形成は、遠く昭和21年の仙台特別都市計画復興土地区画整理事業の着手に端を発するものであります。戦災によって焦土と化した旧城下町を、いかにして近代的な都市に生まれ変わらせるか、という壮大な都市計画が練られました。その結果、整備されたのが、無電柱化された広幅員の都市計画道路、数々の都市公園などであり、定禅寺通には車道を分離するような形で定禅寺通緑地が創出されました。

新しい都市文化づくりの効果

定禅寺通の整備では、市民が「ケヤキ」を愛し育ててきた姿を文化ととらえ、「街路づくり」「街並づくり」「環境づくり」の3つのテーマをもち良好な道路環境をめざし整備しました。

その結果、定禅寺通は「緑の文化回廊」として生まれ変わり、人にもケヤキにもやさしく配慮され、賑わいと憩い・創造と交流の場のある「杜の都仙台」を象徴するシンボルロードとして、「人」「出逢い」「文化」を育む、未来に向けた新しい都市文化づくりの効果があります。

【位置図】



【関連ホームページ】仙台市観光情報 <http://www.city.sendai.jp/keizai/kankou/index.html>
 定禅寺ストリートジャズフェスティバル <http://www.j-streetjazz.com/>